

9月19日〜22日までポルトガルのギマランイスで開催された「2019 FIG 種目別チャレンジカップ・ギマランイス大会」において、鹿屋体育大学体操競技部の杉野正堯さん（スポーツ総合課程3年）がゆか、あん馬の2種目で金メダルを獲得しました。

ポルトガルでの国際大会を終えて、杉野さんは「ゆかとあん馬と鉄棒で優勝することを目指して、どんな体や心の状況の中でも必ず勝ち取るという経験ができました。プレッシャーを自分の中で闘志を燃やして、力いっぱい演技することができました。この経験を生かし、東京オリンピックに向けて突っ走って行きたい」と笑顔で話しました。

2020年7月24日に開幕する東京オリンピックへの出場が期待される杉野さん。五輪切符獲得に向けて、今後の益々のご活躍を祈念いたします。



チャレンジカップ・ギマランイス大会
金メダル2つ獲得！
体操競技部 杉野正堯さん

羽ばたけ 大空へ

財団
月報

第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体開催

9月28日〜10月8日まで第74回国民体育大会が、水戸のご老公やJリーグ鹿島アントラーズのホームタウンとしても知られる茨城県で開催されました（一部会期前実施競技もあり）。茨城での開催は、昭和49（1974）年以来45年ぶりでした。

今回の大会の愛称は「いきいき茨城ゆめ国体」。選手やボランティアをはじめ、国体に参加するすべての人々が、活気に満ちた、いきいきと活動できる夢のあるスポーツの祭典を創りあげていきたいという想いを込め、「翔べ 羽ばたけ 未来へ」のローガンとともに正式競技37競技のほか、公開競技など45競技で各都道府県勢の選手が熱戦を繰り広げました。鹿屋体育大学からも多くの学生と教員が鹿児島県や出身県等から選出され、活躍しました。主な成績は下表のとおりです。

競技名	種目	順位	氏名	学年	出場県
陸上競技	成年女子・円盤投げ	5位	田川 浩子	修士1年	長崎県
	成年女子・1500 m	7位	日隈 彩美	4年	大分県
	成年男子・800 m	3位	高木 駿一	4年	長崎県
バレーボール	成年女子	5位	濱田 幸二	監督	鹿児島県
			白澤 明香里	4年	
			興梠 里欧	4年	
			田部 咲来	3年	
			金本 彩花	3年	
			有村 涼美	2年	
			吉田 萌子	2年	
			諸石 真衣	2年	
			東 美奈	2年	
			横山 真奈	1年	
			池松 未優	1年	
			大工園 彩夏	1年	
サッカー	成年男子	3位	村川 大輔	博士2年	鹿児島県
			平田 皓太郎	4年	
			綿引 康	4年	
			奥田 雄大	4年	
			仙波 柊人	4年	
			田中 大和	4年	
			西村 光明	4年	
			濱口 功聖	3年	
			藤本 一輝	3年	
			安田 惟太郎	3年	
			坂口 祥尉	2年	
			根本 凌	2年	
			小屋原 尚希	2年	
			宮崎 海斗	1年	
			久保 勇晴	1年	
体操競技	団体成年	7位	山口 卓己	1年	鹿児島県
			西之原 佑奎	4年	
			上田 直樹	3年	
			原口 幸大	3年	
			藤巻 竣平	2年	
		5位	高岡 耕平	2年	岡山県
			堀内 柊澄	4年	
			杉野 正堯	3年	
		2位			福岡県

出身地の福井県から自転車競技（男子チームスプリント）の選手として出場した岸田剛さん（スポーツ総合課程3年）、熊本県からなぎなた成年

女子試合競技の選手として出場した春山りんかさん（武道課程2年）は見事優勝を果たしました。同大学の単独チームとして出場したサッカー部は、優勝した茨城チームに敗れましたが3位入賞、鹿屋体育大学を主軸としたチームの成年女子で出場したバレーボール部はVリーグの選手らと相手に健闘し、5位入賞でした。

来年度の国体はいよいよ鹿児島県での48年ぶりの開催となります。直前に開催される東京五輪・パリンピックの感動を受け継ぎ、同大学からも多くの選手が出場し、さらなる活躍を見せてくれることが期待されます。

競技名	種目	順位	氏名	学年	出場県
剣道	成年女子	ベスト8	村田 桃子	3年	鹿児島県
		2位	妹尾 舞香	1年	福岡県
自転車競技	男子チームスプリント	優勝	岸田 剛	3年	福井県
		2位	山根 慶太	2年	鳥取県
		4位	田仲 駿太	2年	大分県
	成年男子ケイリン	3位	徳田 匠	4年	京都府
	成年男子スプリント	6位	真鍋 智寛	3年	愛媛県
	成年男子1km タイムトライアル	7位	岸田 剛	3年	福井県
なぎなた	女子スクラッチ	2位	橋本 優弥	4年	岐阜県
	成年女子演技競技	3位	北 希織	4年	東京都
		4位	三浦 里帆	4年	愛知県
	成年女子試合競技	7位	田口 真耶	3年	鹿児島県
		優勝	春山 りんか	2年	熊本県
		6位	神山 愛姫	1年	愛媛県
ウインドサーフィン	成年女子	5位	渡邊 純菜	3年	山口県

起こされた。明るい。どうやら晴れている。長男の大きな声が起きぬけの耳に障る。一歳になった次男の湿った掌が顔をまさぐる。やめてくれ。せつかくの日曜の朝なんだから戦隊物のテレビでも見ていてくれ▼はっと気づく。今日は長男の幼稚園の運動会。妻は四時半起きで弁当作り。私たち夫婦にとって初めての「我が子の運動会」。朝食もそこそこに、子供たちの身支度を整えて家を出る。会場は近くの小学校のグラウンド。快晴だが少し肌寒く秋の訪れを感じさせる。風はほほ無。運動会日和であった▼運営、園児、保護者、それぞれが独特の緊張感で迎える開会式の後、午前競技。かけっこの着順や演技の出来はさておき長男は笑顔で終えた。昼休み。祖父母二組、従姉家族も弁当を囲んで賑やかに昼食。主役の長男はご満悦。午後の部。親子競技。パパ頑張った▼閉会式後、親族にお礼を言いつて帰宅。妻と子供を労いながら、とりあえず家族四人で川の字になった▼さて昨今は準備運営する学校と保護者の負担や、授業時間の確保等を考慮し、運動会を午前中までとしたり、無くしてしまう園・学校が増えているという。その趣旨は解らないでもないが、貴重な家族のハレのイベント、これはこれでいいかも。そんなことを思う私の側で子供たちが寝息をたてている。（H・Y）

わかくさ

スポーツを愛する
すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

サッカー部選抜2名
アジア大学サッカートーナメント(U-19)で優勝！

2019アジア大学
サッカートーナメント
(台湾)にU-19全日本
大学選抜として鹿屋体育
大学サッカー部の山口卓

出場し2ゴールを決め、宮寄さんは2試合に出場し、チーム一丸となつて戦い優勝を目指しました。

自分のやれることを精一杯やった。積極的に動けたことが良かったと思う」と

の活躍が本学サッカー部のますますの飛躍につながることを期待しています」と激励されました。

己さん（スホーツ総合課
程1年）と同じく宮寄海
斗さん（同1年）が出場
し、見事優勝しました。
また、山口さんは最優秀
選手に選ばれる活躍をみ
せました。

このトーナメント大
会には12チーム（11国・
地域）が出場し、6日間
で4試合をこなすスケ
ジュールで開催されまし
た。山口さんは4試合に

後日行われた学長報告で山口さんは「最優秀選手に選ばれるとは思っていなかったのが驚いた。決勝で点を取れたこと、また全体を通して自分の持ち味であるチームを動かせるプレーができたことが良かった」と述べ、宮崎さんは「練習では選抜の他の選手のすごさを目の当たりにしてついていけないから心配だったが、

感想を述べました。選拔選手としての自分の役割を一人一人が果たすことが優勝に繋がったようです。報告を受けた松下雅雄学長から「優勝おめでとう。1年生のお二人のこ



左から塩川勝行サッカー部顧問
山口さん、宮寄さん、松下学

国立台湾体育運動大学の副学長と副教授が
大学間交流協定締結を視野に鹿屋体育大学を訪問

9月24日（25日の2日間、国立台湾体育運動大学の張 振崗副学長と王伯宇副教授が、鹿屋体育大学との国際交流協定締結に向けた協議や両大学において共同研究の推進を図ることを目的に来鹿、9月24日に松下雅雄学長ら役員を表敬訪問しました。

流協定締結に向けた取り組みができることを期待しています」と歓迎のあいさつを述べました。国立台湾体育運動大学の張副学長からは「本学の学長も貴大学との交流に期待しております。同じ国立大学であるということのほかにも共通点がたくさんあると思いますの



海外の大学と大学間交渉
協定を結んでおり、今回
の訪問を受けて新たな協

す。定の締結が期待されま

表敬訪問では、初めに同大学の松下学長が「日本にお越しいただき、心からの歓迎をいたします。2年前と今年の3月に森司朗理事と徳田修司特任教授が貴大学にお邪魔させていただきましたが、今回はお二人にスポーツパフォーマンス研究センターや体操練習室、屋内実験プールといった本学の施設を实际に見ていただき、国際交

で、ぜひとも連携していきたいです」と、協定締結に向けて前向きな考えが示されました。

また、9月25日には今後の協定締結や大学院における連携についての協議を行い、両大学の研究者による共同研究の実施や学生の短期研修プログラムの実施、博士課程教育での連携等について提案がなされました。鹿屋体育大学では現在9つの

写真前列左から王 伯宇副教授、張 振崗副学長
松下学長、森理事、後列左から石田理
徳田特任教授（鹿屋体育大）



写真前列左から王 伯宇副教授、張 振崗副学長(国立台湾体育運動大学)、
松下学長、森理事、後列左から石田理事、荻田学長補佐、
徳田特任教授(鹿屋体育大学)

海外の大学と大学間交流協定を結んでおり、今回の訪問を受けて新たな協定の締結が期待されます。



左から塩川勝行サッカー一部顧問教員、
山口さん、宮崎さん、松下学長

Blue Winds

みんなのタイムトライアル2019、
貯筋&ウォーキング2019

鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センターでは、10月13日にスポーツイベントによる地域活性化の研究プロジェクトであるCASEプロジェクトの一環として、市民参加型イベント「みんなのタイムトライアル2019」と、大学の財宝寄附研究講座による研究プロジェクトの一環として「貯筋&ウォーキング2019」を開催しました。これら2つのイベ

し、1000m（小学生のみ）、3000m、5000mのレースに臨みました。各レースでは通常の競技会とは違い、トラックのすぐ近くで参加者の家族が応援のボードを叩いて声援を送るといったほほ笑ましい光景も見られる中、陸上競技部の学生がペースメーカーを務めたおかげもあり、多くの参加者が目標タイムよりも速い記録でゴールしました。

「貯筋&ウォーキング2019」では、4歳〜86歳まで幅広い年代の88名が参加しました。「ウォーキング」に加えて、加齢に伴い低下する脚筋力の改善に有効な「貯筋運動」をセットで実施し、約3kmの構内コース上に設置した健康や同大学に関するクイズに挑戦しながら歩きました。楽しみながら健康や大学に関する知識を深めてもらうよい機会となりました。

ました。

参加者の方からは「社会学でこうしたイベントを開いてもらえると身近に感じる」や「構内に入るのは初めて。学生と一绪に歩いて良かった」といった感想が聞かれました。天候にも恵まれ、健康への意識が高まるとともに大学と地域住民の方々の距離が縮まるイベントとなりました。

■みんなのタイムトライアル2019の写真



■貯筋&ウォーキング2019の写真



The diagram illustrates the service flow for the driving school. It starts with '自宅・アルバイト先' (Home/Part-time job), which connects via a 'DIRECT!' bus to '自動車学校' (Driving School). This then connects via another 'DIRECT!' bus to '学校・寮' (School/Dormitory). The central 'Kotobuki Driving School' logo is positioned between the two bus routes.

すべての消費者のために!!

MOVE
Life's Sporting Partners

寿スポーツ

鹿屋市礼元1丁目3番5号
TEL 0994-44-2123

0 100m

鹿屋
農業高校

R269

寿自動車
学校

ドラッグ
イレブン

寿スポーツ

バイパス

**汲取の御注文
浄化槽の管理**

N

水質保全に
全力投球

鹿屋市 西日本浄化サービス株式会社
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL(0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社 **レモンガス** かこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181



中華台北陸上競技代表チームが 鹿屋体育大学陸上競技部と合同練習

今年4月に鹿児島県大崎町に開所した「ジャパニアスリートトレーニングセンター大隅」を拠点に、9月2日から合宿を行っていた中華台北陸上競技代表チームの選手らが9月10日に鹿屋体育大学を訪れ、同大学陸上競技部と合同練習を行いました。

今回の来日は鹿児島県と大崎町が、今年6月に台湾陸上協会と東京2020オリンピック競技大会の事前合宿の協定を締結したことから実現、合同練習は近隣施設として多くのアスリートが活躍している同大学において、台湾陸上チームと大学陸上競技部双方の



松下雅雄学長(左)と王台湾陸上協会秘書長



さらなる競技力とモチベーションの向上に繋がることを目的として行われました。

当日は時折大粒の雨が降るあいにくの天候でしたが、練習メニュー等を話し合いながら反復練習がなされ、全員が真剣に取り組む姿が見られました。

健康づくり・介護予防講座 県民交流センターで3日間開催！

鹿屋体育大学とご協力する県民大学との連携講座として、10月11、18、25日の3日間、「健康づくり・介護予防講座 歩く脳トレ運動」が、かごしま県民交流センターで開催されました。

中垣内先生によればスクエアステップを続ける体力の向上、転倒のリスクの低減、介護予防につながり、認知機能の若返りも期待できるそうです。

加えて、介護予防の新しいエクササイズを楽しみました。

下、介護予防の新しいエクササイズを楽しみました。



教室の様子

普通救命講習を開催

鹿屋体育大学では、9月24日に教職員を対象とした「普通救命講習」を開催しました。

この講習は、大隅肝臓地区消防組合中央消防署から講師を招き、救命に必要な応急手当の方法について理解させることを目的として毎年実施しているもので、今年も22名の教職員が参加して行われました。

講習は普通救命講習3時間コースのカリキュラムで、応急手当の目的とその必要性についてDVD視聴を行った後、人形を用いた心肺蘇生法及び

AED(自動体外式除細動器)の使用法について実習を中心に実施されました。初めはぎこちなかった参加者も、講師の丁寧な指導や緊迫した実際の様子等を聞きながら行うことにより、時間の経過とともに動作も上達しました。また講師への質問も積極的に行うなど、体育大学の教職員としての救命処置への関心の高さが伺えました。

参加者からは「人形を使用して



心肺蘇生法の実技

の講師の実演があったので、より救命方法について理解できた」、「実技指導や質問に丁寧に対応され、いざという時は手助けをしたい」等と感想があり、たいへん有意義な講習となりました。

陸上世界選手権4×100m 銅メダリストの藤光選手が測定実施

オリンピックで、2017年世界選手権4×100mの銅メダリストの藤光謙司選手(ゼンリン)が鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス研究センター(以下SP研究センター)において動作分析測定を行いました。

藤光選手はSP研究センターで測定するのは2019年9月に続き2回目。同大学非常勤研究員である松尾彰文教授のサポートを得て、SP研究センターの50mのフォースプレートを活用した測定を行います。33歳という年齢を迎え「若い時からの変化に対応し、今自分ができることの最大限のパフォーマンス



測定後に陸上競技部の学生と一緒に(中央:藤光選手)

課外活動団体紹介



女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は、濱田幸二先生、坂中美郷先生、伊集院俊博外部トレーナー、沼田薫樹戦術コーチ(D1)のご指導のもと日々練習に取り組んでいます。部員は4年生5人、3年生4人、2年生7人、1年生8人の総勢24名です。「日本一」を目標に、テーマとして「挑戦」を掲げています。「挑戦」には、何事にも立ち向かっていく姿勢を忘れず取り組むことで、技術面だけではなく人間力の向上にも努めるという意味が込められています。

主な試合は九州春秋リーグ、西日本IC、全日本ICそして、天皇・皇后杯全日本選手権、国体です。

活動としては、年間約10回小・中学生対象に公開講座やバレーボール教室を行い、地域との交流を深めたり、カナダのアルバータ大学と

はお互い大学を交代で訪れて、海外での生活を肌で感じ語学力を高め国際交流も深めています。

毎日の練習は、心技体をモットーに、まずウエイトトレーニングから行います。ボール練習を行う前にウエイトトレーニングを取り組むことで、怪我に負けない強い身体を目指します。その後にはボールを使った技術練習として、基礎メニューやポジションごとの課題練習、そして、試合を想定したチーム練習などを行っています。

今年の10月に行われた茨城国体では5位という結果で終わりました。まだまだ自分達の課題があり、成長しなければなりません。11月末にある全日本インカレに向けて部員とスタッフが一致団結し、日々努力していきたいと思っております。応援よろしくお願いします。

企業説明会用ブース

Before After

変わる！魅せる！

ディスプレイで(差)がつく!!

★会社イメージの向上 ★スムーズな営業 ★統一感でさらなる魅力アップ

株式会社 新生社印刷

URL: <https://www.shinsei-p.co.jp> 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34 E-MAIL: kan@shinsei-p.co.jp TEL: 0994(43)2238(代)

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る

SUGOHAKU

【厚感デジタル加飾システム】

パッケージ・パンフレット・ポスターetcに、ご活用いただけます。

印刷物へ新たな付加価値を

心にしみる...

小 鹿

鹿児島焼酎

小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地 TEL:0994-58-7171 FAX:0994-58-8363 <http://www.shochu-kojika.jp>

お酒は20歳を過ぎてから。

